

2022年5月15日

## 「日本難病・疾病団体協議会第18回総会」へのメッセージ

日本難病・疾病団体協議会第18回総会のご開催をお慶び申し上げます。人間の尊厳がなによりも大切にされる社会の実現のため、患者・家族の方々の交流や社会への啓発、行政へのはたらきかけなどに日々取り組んでおられる皆様に心から敬意を表します。

立憲民主党は、一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、多様性を認めつつお互いさまに支え合い、すべての人に居場所がある「共に生きる社会」をつくるため、活動しています。難病患者とそのご家族の皆さまが、地域で尊厳をもって生活していくためには、難病の原因究明や治療法の確立を進めるとともに、難病の子どもたちや家族への支援、成人への移行期医療の充実、地域格差の解消などが必要です。

そして立憲民主党は、就労支援、相談体制の整備など包括的な難病対策の拡充も、党の政策として掲げております。今後とも難病の患者に対する医療等に関する法律の理念を踏まえ、当事者の皆さまのご意見をしっかりと伺いながら、取り組みを進めてまいります。

最後に、総会のご盛会と皆様の活動のより一層のご発展を祈念し、また、立憲民主党に対する一層のご支援もお願いしまして、メッセージといたします。

立憲民主党代表 泉健太